

## ポーランド語の接尾辞に関する一考察

渡辺克義

WATANABE Katsuyoshi

はじめに

前稿「ポーランド語の接頭辞」『山口県立大学学術情報第8号 [国際文化学部紀要通巻第21号]』(2015年)に引き続き、本稿ではポーランド語の接尾辞について考察する。なお、本稿作成にあたっては、Jadacka(1999)に依拠するところが大きいことを予め記しておく。

接尾辞 (複合語最終成分を含む) 一覧

- acja** ラテン語・フランス語からの借用名詞に顕著に見られ、-ować 動詞に対応 (例: deklamacja 朗読 < deklamować 朗読する)。形容詞形は一般に -(y)ny となる (例: deklamacyjny 朗読の)。
- actwo** -stwo を参照。
- acz** ① 動詞由来名詞として、人・道具・装置・手段など (例: słuchacz 聴取者 < słuchać 聴く, powielacz 複写機 < powielać 複写する) を、② 名詞由来名詞として、その特徴を具備した人 (例: siłacz 力持ち < siła 力) を表す。
- aczka** -ka を参照。
- ać** -ić を参照。
- adło** -dło を参照。
- ak** ① 名詞由来名詞として、住民、若い動物など (例: Ślązak シロンスク住民 < Śląsk シロンスク, kociak 子猫 < kot 猫) を、② 動詞由来名詞として、道具・場所・行為者など (例: pływak 泳者 < pływać 泳ぐ, deptak 散歩道 < deptać 踏む, wieszak ハンガー < wieszać 掛ける) を、③ 形容詞由来名詞として、その性格を帯びた人 (例: biedak 貧乏人 < biedny 貧しい) を、④ 数詞由来名詞として、その数的特徴を帯びた人 (ないし物) (例: pierwszak 小学1年生 < pierwszy 第1の) を表す。
- alnia** 主に動詞由来名詞として場所を表す (例: poczekalnia 待合室 < poczekać しばらく待つ)。-nia を参照。
- alnictwo** -stwo を参照。
- alnik** ① 行為者 (例: muzealnik 博物館学者 < muzeum 博物館)、② 機械・工具 (例: powiększalnik 引き伸ばし機 < powiększać 拡大する)、③ 材料・物質 (例: rozpuszczalnik 溶剤 < rozpuszczać 溶かす) を表す。-nik を参照。
- alność** 動詞由来名詞として、頻度を表す (例: oglądalność 視聴率 < oglądać 見る, umieralność 死亡率 < umierać 死ぬ)。\*oglądalny, \*umieralny という語が存在しないことから、-alny 型形容詞からの派生語ではない。-alny, -ość を参照。
- alny** ① 動詞由来形容詞として可能を表す (例: osiągalny 到達可能な < osiągać 到達する)、② 外来名詞について、名詞派生形容詞になる (例: fundamentalny 基本の < fundament 基本)。
- anie** -ać で終わる動詞から名詞を導く (例: czytanie 読書 < czytać 読む)。
- anin** ① 住民 (例: Afrykanin アフリカ人 < Afryka アフリカ, Warszawianin ワルシャワ市民 < Warszawa ワルシャワ, nadbrzeżanin 沿岸地帯住民 < nadbrzeże 沿岸地帯)、② ある信仰・信条を持つ人 (例: luteranin ルター派信者 < luteranizm ルター派信仰, chrześcijanin キリスト教徒 <

- chrześcijaństwo キリシト教, wegetarianin 菜食主義者 < wegetarianizm 菜食主義), ③ 名詞由来名詞あるいは形容詞由来名詞として, その役割・特徴を持つ人 (例: powodzianin 洪水被害者 < powódź 洪水, grubianin 無作法者 < grubiański 無作法な) を表す.
- anina** 動詞由来名詞として, 否定的な意味合いを持つ行為・結果を表す (例: bazgranina なぐ書き < bazgrać 書きなぐる, mieszanina ごった混ぜ < mieszać 混ぜる).
- anka** -a ないし -g で終わる男性名詞に付加され, 当事者の娘を表すが, 現在では造語能力を失いつつある (例: starościanka 族長の娘 < starosta 族長, Maciążanka マチョンク氏の娘 < Maciąg マチョンク (人名・姓)).
- ans** 多くフランス語由来の名詞に見られる. 接尾辞 -ance を持つ仏語語彙は行動・性質・状態を表す女性名詞であるが, ポーランド語では硬変化男性名詞となる (例: konwenans エチケツト).
- any** -ła, -ło, -nia で終わる名詞および布地を表す名詞から形容詞を派生 (例: kopalniany 鉱山の < kopalnia 鉱山, mydlany 石鹸の < mydło 石鹸, pracowniany 仕事場の < pracownia 仕事場, wełniany ウールの < wełna ウール). -ny を参照.
- ański** -ski を参照.
- aństwo** -stwo を参照.
- arka** -ka を参照.
- arnia** 場所を表す. 名詞由来名詞 (例: mleczarnia 牛乳屋 < mleko 牛乳), 動詞由来名詞 (例: kreślarnia 製図室 < kreślić 製図をする). -nia を参照.
- arny** 形容詞を派生 (例: parlamentarny 国会の < parlament 国会).
- arski** -arz, -ski を参照.
- arstwo** -stwo を参照.
- arz** ① 名詞由来名詞として派生源に関係した人 (例: piosenkarz 歌手 < piosenka 歌), ② 動詞由来名詞として派生源に関係した人 (例: piekarz パン焼き職人 < piec 焼く) を表す.  
-arz 型の名詞の形容詞形は -arski となる (例: piosenkarski 歌・歌手の < piosenkarz, piekarski パン焼き (職人) の < piekarz).
- asty** 名詞由来形容詞を導く (例: dyniasty カボチャ型の < dynia カボチャ, kopulasty 丸屋根型の < kopuła 丸屋根) [ある形を連想させることを示す].
- awy** ① 形容詞由来形容詞 (例: gorzkawy いくらか苦い < gorzki 苦い) [程度が弱いことを示す], ② 名詞由来形容詞 (例: fosforawy 燐を少量含む < fosfor 燐) を導く. ② は化学用語.
- ątko** -ę で終わる, 若い生物を表す中性名詞に付く (例: bocianiątko < bocianie < bocian こうのとりに).
- berczyk** -berg を参照.
- berka** -berg を参照.
- berg** ゲルマン言語圏の地名で現れる接尾辞 (例: Heidelberg ハイデルベルク). -berg 型名詞からの派生語では -g が消失する (例: heidelterski ハイデルベルクの, heideltersczyk ハイデルベルク市民 (男), heidelterska ハイデルベルク市民 (女)). -g の消失については, -bergia, -borg, -burg, -burgia の場合も同様.
- bergia** ゲルマン言語圏の地名で現れる接尾辞 (例: Wirtembergia ヴュルテンベルク [ドイツ南西部の旧州]).
- berski** -berg を参照.
- borczyk** -bork を参照.
- borg** ゲルマン言語圏の地名で現れる接尾辞 (例: Göteborg イェーテボリ).
- bork** ゲルマン系言語の -berg, -borg, -burg に由来するポーランドの地名に現れる (例: Malbork マルボルク). -bork からの派生語は -borczyk, -borka, -borski のようになる (例: malborczyk マルボルク市民 (男), marborka マルボルク市民 (女), malborski マルボルクの).
- borka** -bork を参照.

**-borski** -bork を参照.

**-burczyk** -burg, -burgia を参照.

**-burg** ゲルマン言語圏の地名で現れる接尾辞 (例: Salzburg ザルツブルク). -burg からの派生語は -burczyk, -burka, -burski のようになる.

**-burka** -burg, -burgia を参照.

**-burgia** ゲルマン言語圏の(歴史的)地名で現れる接尾辞 (例: Brandenburgia ブランデンブルク). -burgia からの派生語は -burczyk, -burka, -burski のようになる.

**-burski** -burg, -burgia を参照.

**-ca** 行為者を表す. ① 動詞由来名詞 (例: pochlebca おべっか使い < pochlebić おもねる, znawca 専門家 < znać 知っている), ② 名詞由来名詞 (例: barbarzyńca 野蛮人 < barbarzyństwo 蛮行), ③ 形容詞由来名詞 (例: rozjemca 仲裁裁判官 < rozjemczy 仲裁の).

**-cie** 動詞由来名詞で行為を表す. ① 動詞語尾に -ną- を含む場合 (例: stuknięcie トントン叩くこと < stuknąć トントン叩く), ② 語幹が母音で終わる場合 (例: mycie 洗うこと < myć 洗う), ③ 語幹交替が起こる場合 (例: parcie 押すこと < przeć 押す) がある. 行為のほかにも, 場所・結果・手段・対象など多様な意味を派生する (例: ujście 出口 < ujść 出る, zapięcie 留め金 < zapiąć 留め金をかける, żarcie 餌 < zjeść むさぼり食う).

**-cki** -ski を参照.

**-ctwo** -stwo を参照.

**-czy** -y を参照.

**-czyk** ① 住民 (例: londyńczyk ロンドン市民 < Londyn ロンドン, Japończyk 日本人 < Japonia 日本), ② 支持者 (piłsudczyk ピウスツキ派一員 < Piłsudski ピウスツキ).

**-dło** ① 否定的ニュアンスを付与 (例: piśmidło つまらない雑誌 < pismo 著作), ② 動詞由来名詞で, 道具または手段を表す (例: mydło 石鹸 < myć 洗う, wiązadło 靱帯 < wiązać 結ぶ).

**-dziesiąt** 10 の位を表す (例: pięćdziesiąt 50).

**-e** 「前置詞+名詞」由来の名詞を表す (例: przyproże 敷居のあたり < przy progu).

**-eński** -ski を参照.

**-ec** ① 形容詞由来名詞で, a) 人物 (例: pechowiec 不運な人 < pechowy 不運な, postępowiec 進歩論者 < postępowy 進歩的な), b) 建物 (例: mrówkowiec (蟻塚のような) 高層住宅 < mrówkowy アリの, wysokościowiec 高層建築・摩天楼 < wysokościowy 高層の), c) 船舶 (例: dwumasztowiec 2本マストの船 < dwumasztowy 2本マストの, żaglowiec 帆船 < żaglowy 帆の), d) -ly で終わる形容詞の性格・性質を具備した人 (例: przemądrzalec 知ったかぶる人 < przemądrzały 知ったかぶりの) を表す. ② 名詞由来名詞で, 類似性を持つものを表す (例: wzorzec 手本 < wzór 原型・雛形, tasiemiec さなだ虫 < taśma テープ). ③ 動詞由来名詞で, a) 行為者〔被動形動詞由来の語もある〕 (例: goniec 伝令 < gonić 急き立てる, kupiec 商人 < kupić 買う, posłaniec メッセンジャー < posłany [posłać (送る) の被動形動詞]), b) 手段・道具 (例: przyklepiec 絆創膏 < przyklepić 貼り付ける) を表す.

**-eczek / -iczek / -yczek** 指小形の指小形を作る (例: domeczek < domek < dom 家). 指小形ではない -ek / -ik / -yk で終わる語から, 指小形を導く場合もある (例: stołeczek < stołek 腰掛け).

**-eczka** 指小形の指小形を作る (例: pszczołeczka < pszczołka < pszczoła 蜜蜂). 指小形ではない -ka で終わる語から, 指小形を導く場合もある (例: sąsiadeczka < sąsiadka 女性の隣人).

**-eczko** 指小形の指小形を作る (例: siteczko < sitko < sito ざる).

**-eć** 動詞由来動詞・形容詞由来動詞として, 「…になる」「…である」の意を表す (例: dziwaczeć 変人になる < dziwak 変人, łysieć 禿げる < łysy 禿げた).

**-ejczyk / -ijczyk / -yjczyk** -czyk の異形態 (例: europejczyk ヨーロッパ人 < Europa ヨーロッパ, Walijszczyk ウェールズ人 < Walia ウェールズ, Syryjczyk シリア人 < Syria シリア).

- ek** ① 名詞由来名詞で、指小形を導く (例: fartuszek 小さな (かわいらしい) エプロン < fartuch エプロン, groszek グリーンピース < groch えんどう豆, niedźwiadek 小熊 < niedźwiedź 熊). 語幹の子音交替が頻繁に起こるが, -k, -g, -ch → -cz, -ż, -sz については規則的に起こる, ② 動詞由来名詞では、行為者 (例: milczek 無口な人 < milczeć 黙っている) や対象物 (例: dopisek 書き加え < dopisać 加筆する) を表す, ③ 形容詞由来名詞では、当該特徴を具備した人を表す (例: śmiałek 大胆な人 < śmiały 大胆な), ④ 前置詞を内包した派生もある (nagrobek 墓碑銘 < na 上に + grób 墓).
- enie** 動詞由来名詞を導く. ① 語幹に -i ないし -e- を持つ動詞から (例: palenie 喫煙 < palić 喫煙する, leżenie 横になること < leżeć 横になる), ② 子音語幹を持つ動詞から (例: pieczenie 焼くこと < piec 焼く).
- eński** -ski を参照.
- fon** ギリシャ語起源の接尾辞で、「音」の意 (例: megafon メガフォン).
- ianin / -janin** -anin に同じ (外来語で語幹が c, l, r, s, z で終わる場合. 例: Wenusjanin 金星人 < Wenus 金星).
- ica / -yca** ① 雌の意 (例: wróblca 雌の雀 < wróbel 雀, wilczyca 雌の狼 < wilk 狼), ② 女性に対して冗談・侮蔑を表現 (例: dyrektorzyca 女社長 < dyrektor 社長), ③ 名詞由来名詞あるいは形容詞由来名詞で、病名を表す (例: grzybica 水虫 < grzyb 菌類, pylica 塵肺症 < pyliczy 塵肺症の).
- iciel / -yciel** 動詞由来名詞で、行為者を表す (例: nauczyciel 教師 < nauczyć 教える, założyciel 設立者 < założyć 設立する).
- iczek** -eczek を参照.
- iczny** -y を参照.
- iczny / -yczny** 名詞由来形容詞を導く (例: monarchiczny 君主制の < monarchia 君主制, monarchistyczny 君主主義者の < monarchista 君主主義者). 基になる名詞は -ia, -ista で終わる語が多い.
- ić / -yć / -ać** 名詞由来動詞あるいは形容詞由来動詞を導く。完了体動詞は -ić / -yć に、不完了体動詞は -ać に終わる (例: ozłocić, ozłacać 金メッキする < złoto 金; zaciekawić, zaciekawiać 関心を引く < ciekawy 興味深い). この例のように、何らかの接頭辞が付くことが多い.
- idło** -dło を参照.
- ijczyk** -czyk を参照.
- ijski** -ski を参照.
- ik / -yk** ① 名詞由来名詞として、指小形を表す (例: konik 仔馬 < koń 馬, talerzyk 小皿 < talerz 皿), ② 形容詞由来名詞として、その特徴を具備した人を表す (例: dostojnik 高官 < dostojny 威厳のある), ③ 動詞由来名詞として、道具・材料・場所などを表す (例: budzik 目覚まし時計 < budzić 目を覚まさせる, barwnik 染料 < barwić 染める, brodzik (子ども用の小さく浅い) プール < brodzić (水中を) 歩いて渡る).
- ina / -yna** ① -a で終わる夫の名字ないし地位から妻を表す形を派生 (例: Skarżyna < Skarga スカルガ [夫の姓], starościna 族長の妻 < starosta 族長). 現代ポーランド語ではこの接尾辞は事実上造語機能を失っている. ② 名詞由来名詞で、軽蔑・憐憫などのニュアンスを付与 (例: pijaczyna 飲んだくれ < pijak 酒豪).
- iną** 「他の」の意 (例: znikądiną 他のどこからも (...ない)).
- ini** -yni を参照.
- iński** -ski を参照.
- isko / -ysko** ① 指大形を導く (例: chmurzysko (大きく厚い) 雲 < chmura 雲), ② 場所を表す (例: kartoflisko ジャガイモ畑 < kartofel ジャガイモ, wczowisko 保養地 < wczasy 保養).
- ista / -ysta** ① 行為者を表す (例: hokeista ホッケー選手 < hokej ホッケー, masażysta マッサージ師 < masaż マッサージ), ② 主義・主張の信奉者 (例: pesymista 悲観論者 < pesymizm 悲観論, darwinista ダーウィン説信奉者・進化論者 < darwinizm ダーウィン説・進化論) [-izm で終わる名詞や固有名詞か

ら派生するものが多い]。

**-istyczny / -ystyczny -izm** で終わる名詞から形容詞を派生 (例: *ekspansjonistyczny* 拡張政策の < *ekspansjonizm* 拡張政策)。

**-iwo / -ywo** ① 動詞由来名詞で, 材料を表す (例: *paliwo* 燃料 < *palić* 燃やす), ② 名詞由来名詞で, 材料を集合的に表す (例: *szkliwo* うわぐすり < *szkło* ガラス) [一般に複数形なし]。

**-izm / -yzm** ① 主義・教義・学説・体制など (例: *kapitalizm* 資本主義, *marksizm* マルクス主義, *hebraizm* ヘブライ主義), ② 状態・特徴・行動型など (例: *heroizm* ヒロイズム, *mechanizm* メカニズム, *alkoholizm* アルコール中毒)。

**-izna / -yzna** ① 国名・民族名から派生し, その言語を指す (例: *polszczyzna* ポーランド語 < *Polska* ポーランド, *japońszczyzna* 日本語 < *Japonia* 日本), ② 形容詞由来名詞として, 食傷気味な感じを伝える (例: *szarzyzna* 灰色, 無味乾燥 < *szary* 灰色の)。

**-janin -ianin** を参照。

**-ka** ① 人を表す男性名詞に付され, 対応の女性名詞となる (例: *aktorka* 女優 < *aktor* 俳優, *malarka* 女流画家 < *malarz* 画家, *Japonka* 日本人女性 < *Japończyk* 日本人), ② 女性名詞に付され, 指小形となる (例: *grupka* 小グループ < *grupa* グループ, *małpka* 子猿 < *małpa* 猿), ③ 動詞由来名詞で, 対象物を表す (例: *wtyczka* プラグ < *wtykać* 差し込む), ④ 動詞由来名詞で, 行為・行動を表す (例: *orka* 耕作 < *orać* 耕す), ⑤ 名詞由来名詞で, 行為・行動を表す (例: *monterka* 組立て < *monter* 組立工) [monterka は女性組立工も意味する]。

**-ko** 中性名詞に関し, 指小形を導く (例: *okienko* 小窓; 窓口 < *okno* 窓)。冗談あるいは皮肉な響きを伴う場合もある (例: *pytanko* < *pytanie* 質問)。

**-kolwiek** 「…であろうと」の意の不定代名詞・副詞を導く (例: *ktokolwiek* 誰であろうと)。

**-kroć** 「…回」の意 (例: *stokroć* 100回)。

**-lecie** 「…年」の意 (例: *pięciolecie* 5年)。

**-naście** 「(10) いくつか」の意 (例: *szesnaście* 16)。

**-nia** 場所を表す。① 動詞由来名詞 (例: *odlewnia* 鋳物工場 < *odlwać* 鋳造する), ② 名詞由来名詞 (例: *introligatornia* 製本所 < *introligator* 製本工), ③ 形容詞由来名詞 (例: *pochylnia* 傾斜路 < *pochyły* 傾斜した)。

**-nik** ① 動詞由来名詞・形容詞由来名詞では, 道具や設備の名称となることが多い (例: *podnośnik* ジャッキ < *podnosić* 持ち上げる, *bezpiecznik* 安全装置 < *bezpieczny* 安全な), ② 名詞由来名詞では, a) 行為者, 当該特徴を具備した人など (例: *napastnik* 侵略者 < *napaść* 侵略, *prawnik* 法律家 < *prawo* 法律), b) 場所・施設など (例: *kurnik* 鶏舎 < *kura* 雌鶏, *piórnik* 筆箱 < *pióro* ペン)。

**-ny** ① 名詞派生形容詞 (例: *denny* 底の < *dno* 底, *jedwabny* 絹の < *jedwab* 絹) [名詞に特別のニュアンスを加味することなく, 形容詞形を導く。この点で *-ny* 型形容詞は *-ski* 型・*-owy* 型形容詞と競合する], ② 動詞由来形容詞 (例: *przenośny* 携帯用の < *przenosić* 持って行く, *żądny* 熱望している < *żądać* 要求する) [意味的に能動形動詞に近い] を導く。

**-ostwo -stwo** を参照。

**-ość** 形容詞由来名詞として, 抽象的概念を表す (例: *solidarność* 団結 < *solidarny* 団結した)。通常, 単数形でのみ用いられるが, 派生的意味を持つ場合には複数形でも用いられることがある (例えば, *nowość* は「新しさ」の意味に加え, 「最新作」などの意味を持つ。「最新作」の意では複数可)。

**-owa** 子音ないし *-o* で終わる夫の名字ないし地位から妻を表す形を派生 (例: *Kościuszkowa* コシチュシュコ夫人 < *Kościuszko* コシチュシュコ, *ministerowa* 大臣夫人 < *minister* 大臣)。現在, この接尾辞による派生は減少している。*-anka*, *-ina*, *-ówna* を参照。

**-ować** 名詞由来動詞を導く (例: *awasować* 昇進させる < *awans* 昇進)。動詞の新語はこの接尾辞によって創られる。

- owaty** 名詞由来形容詞で、① 類似・共通の意（例：galaretowaty ゼリー状の < galareta ゼリー）、② 植物の分類における「…科（の）」の意（例：cyprysowate ヒノキ科（の） < cyprys 糸杉）。
- owicz** 名詞由来名詞で、① 基になる語への強い偏向（例：karierowicz 出世主義者 < kariera 出世・経歴）〔軽蔑・冗談めいた響きを伴う〕、② 一時的な状況下の人（例：wczasowicz 保養客 < wczasy 保養）。
- owiec** ① 名詞由来名詞として、a) ある主義・信仰の信奉者（例：hitlerowiec ヒトラー信奉者 < Hitler ヒトラー、lewicowiec 左翼の人 < lewica 左翼）、b) 行為者（例：ciężarowiec トラック運転手 < ciężarówka トラック、stocznowiec 造船所労働者 < stocznia 造船所）、② 動詞由来名詞として、船舶や飛行機の類（例：eskortowiec 護送船 < eskortować 護送する、szybowiec グライダー < szybować 滑空する）を表す。
- owisko** -isko を参照。
- ownia** 名詞由来名詞として、場所を表す（例：siłownia フィットネスクラブ < siła 力、maszynownia 機械室 < maszyna 機械）。-nia を参照。
- ownik** 名詞由来名詞を導くが、基の語との関係は様々である（例：bimberownik 密造酒製造者 < bimber 密造酒、nożownik ナイフを所持した悪漢 < nóż ナイフ）。-nik を参照。
- owski** ① 人を表す一部の名詞から（例：społecznikowski 社会活動家の < społecznik 社会活動家）、② 頭字語から（例：panowski < PAN (Polska Akademia Nauk / ポーランド科学アカデミー)）。-ski を参照。
- owy** 名詞由来形容詞を導く接尾辞中、最も生産力を持つ（例：książkowy 本の < książka 本、propagandowy プロパガンダの < propaganda プロパガンダ）。-alny, -ny, -ski を参照。
- ówna** 子音ないし -o で終わる男性名詞に付加され、当事者の娘を表すが、現在では生産能力を失いつつある（例：Zajacówna < Zając、profesorówna 教授の娘 < profesor 教授）。
- set** 100の位を表す（例：pięćset 500）。
- ski / -cki** [-ański, -arski, -eński, -ijski, -iński, -ojski, -owski, -yjski] ① 主に -arz, -ak で終わる名詞から形容詞を導く（例：malarski 画家の < malarz 画家、rybacki 漁師の < rybak 漁師）、② 外来語名詞から派生した形容詞（例：prokuratorski 検事の < prokurator 検事、profesorski 教授の < profesor 教授）、③ 地名派生の形容詞（例：nowosądecki < Nowy Sącz ノヴィ・ソンチ）。
- sko** -isko を参照。
- stwo / -ctwo** 職業・専門・学問領域などを表す語から抽象名詞を導く（例：muzealnictwo 博物館業務 < muzealny 博物館の）。時に、人を表す語から、その特徴を表示（例：niepełstwo 不器用 < niepełna のろま）、また、時に行為の名称を表すことや、集合名を表す場合もある（例：kreślarstwo 製図 < kreślić 製図する、mieszczanstwo 小市民階級 < mieszczanin 小市民）。
- ś** 「…か」の意の不定代名詞・副詞を導く（例：ktoś 誰か）。
- uszek** 中性名詞から指小形を導く（例：jabłuszek < jabłko リンゴ）。
- y** [-czy, -iczny] 語幹が -k または -c に終わる名詞から形容詞形を導く（例：lutniczy 弦楽器製造者の < lutnik 弦楽器製造者、obróbczy 加工の < obróbka 加工、osiedleńczy 団地生活の < osiedleniec 団地生活者）。
- ystyczny** -istyczny を参照。
- yca** -ica を参照。
- yciel** -iciel を参照。
- yczek** -eczek を参照。
- yczny** -iczny を参照。
- yć** -ić を参照。
- yńczyk** -czyk を参照。
- yjny** -acja, -ia, -ium, -sja, -zja で終わる名詞からの派生形容詞（例：komunikacyjny 交通の < komunikacja 交通、bakteryjny バクテリアの < bakteria バクテリア、sanatoryjny サナトリウムの < sanatorium サ

ナトリウム, represyjny 弾圧の < represja 弾圧, recenzyjny 批評の < recenzja 批評). -ny を参照.

-yk -ik を参照.

-yna -ina を参照.

-yni -ca で終わる, 人を表す男性名詞に付され, 対応の女性名詞となる (例: sprzedawczyni < sprzedawca 店員, wykonawczyni < wykonawca 実行者). しかし, 日常頻繁に用いる語彙でもこうした派生が見られない場合も多く, 造語能力はかなり限定的と言える. 例えば, przestępca (犯罪者) や wyborca (有権者) などに -yni 型の派生は一般的でない.

-yjski -ijski を参照.

-ysko -isko を参照.

-ysta -ista を参照.

-ystyczny -iczny を参照.

-ywo -iwo を参照.

-yzm -izm を参照.

-yzn -izna を参照.

#### 参考文献

*INDEKS A TERGO do Słownika języka polskiego pod redakcją Witolda Doroszewskiego*, oprac. Renata Grzegorzczkova i Jadwiga Puzynina, Warszawa 1973.

Renata Grzegorzczkova, Jadwiga Puzynina, *Słowotwórstwo współczesnego języka polskiego. Rzeczowniki sufiksalne rodzime*, Warszawa 1979.

Halina Jadacka, Cząstki słowotwórcze [w:] *Nowy słownik poprawnej polszczyzny PWN*, red. Andrzej Markowski, Warszawa 1999.

木村彰一他編『ポーランド語辞典』(白水社, 1981年)

*Słownik poprawnej polszczyzny PWN*, red. Witold Doroszewski i Halina Kurkowska, Warszawa 1980.

Bogdan Szymanek, *A Panorama of Polish Word-Formation*, Lublin 2010.

*Uniwersalny słownik języka polskiego*, red. Stanisław Dubisz, t. VI, *Indeks a tergo*, Warszawa 2003.

## Polish Suffixes

WATANABE Katsuyoshi

In this article author makes an analysis of Polish suffixes.

The knowledge of suffixes is very efficient for Japanese people to enrich Polish vocabulary. The author takes into consideration Polish teaching for Japanese students.